

(特非) アサザ基金

霞ヶ浦水源地の総合保全に向けたコンソーシアムの設立とコミュニティビジネスの流域ネットワーク化

活動地域

茨城県霞ヶ浦流域

ひろげる助成

2年目

実践

水源地の再生面積 **16.9 ha**

イベント参加人数 **463人**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **50%**



馬を導入し水源再生への循環の輪を拡大

活動内容と成果

水源再生と過疎集落の活性化を一体化したコミュニティビジネスの拠点となる古民家の改修を終え、活動を試行的に開始した。新たに改修した空き家をシェアハウスにして4人の移住者を誘致し、再生した耕作放棄地や里山への働きかけを行ってもらっている。かつて農村にいた馬や山羊を導入し、輸入飼料等に一切頼らず、採草等を通して水源地の耕作放棄地や里山への働きかけを拡大し、稲藁の活用や堆肥づくりを通して循環の輪を作った。水系間の情報交流によって、物や技術をシェアできる可能性が見えてきた。



シェアハウス入居者による再生地活用会議

課題

霞ヶ浦流域では水源を管理してきた集落の過疎化が進み、耕作放棄地の増加や森林の荒廃が進んでいる。流域を視野に水源を総合的に保全再生することが課題となっている。

目標

霞ヶ浦流域の主要3水系で、水源の耕作放棄地再生と森林整備を過疎集落の活性化と一体化したコミュニティビジネスを興し、流域展開への体制作りを行う。



今後の展望

水源再生の拠点となる古民家カフェとシェアハウスを生かし、都市部からのボランティアや移住者をより積極的に受け入れていきたい。水系間の交流を通して物や技術をシェアし合い様々なものを生み出していきたい。

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルスの影響で、計画していた集落間の交流が困難となったため、スタッフが集落間をつなぐ役割を果たし情報交換を行った。

■ 工夫した点

水源保全の体験としての田植えや稲刈り、自然観察会等は、オンラインも活用して現場の雰囲気伝えるように工夫した。

〒300-1222

茨城県牛久市南3-4-21

電話：029-871-7166

E-mail：asaza@jcom.home.ne.jp

HP：http://www.asaza.jp/

